

英国ディベートチーム プロフィール

<英国ディベートチーム>

ケイティー・ハード

Katie Heard

ダーラム大学

ダーラム大学にて政治経済を学ぶ2年生。1年生よりディベートを始め、今年は英国内の大会にて頭角を現し、マレーシア大会ではジャッジを務める。この2年間は、英国 English Speaking Union (ESU) が開催する小中学校での Discover Your Voice (パブリック・スピーキングのワークショップ) を担当。日本の大学生ディベーターと交流し、大好きな寿司を含めて日本を探求することを楽しみにしている。

マイケル・ヘップバーン

Michael Hepburn

ストラスクライド大学

スコットランドのストラスクライド大学を卒業。昨年は、エクアドルのキトにある国際バカロレア高校にて、歴史教員として勤務。この5年間ボランティアで、スコットランド全域でパブリック・スピーキング及びディベートを指導。ペルーに滞在した後、8か月間アメリカにて教育関係セールスの経験がある。学生時代はディベートに大きく関わり、ストラスクライド大学ディベート会長を務める。碁を愛好し、腕を磨くことを楽しみにしている。

シャノン・ターナー

Shannon Turner

英国外務省

エジンバラ大学の卒業生で、大学時代には4年間ディベートに関わった。スコットランドの大学や(中高等)学校にて、ディベート、ジャッジ、パブリック・スピーキングを指導。ESU スコティッシュ・ナショナル・メイス大会(2014年)で優勝、最優秀ディベーター。同大会にて今年の審査委員長を務めた。さらに、スピーカーや審査員としていくつもの大会で入賞し、広くヨーロッパ各地でディベート試合に参加してきた。現在はディベートの能力を英国の外交官として役立てつつある。

ベッキ・ハワース

Becki Howarth

バーミンガム大学

ディベーターとしては、今年のヨーロッパ大学対抗ディベート選手権で準々決勝まで勝ち進んだ他、5大会で優勝、15以上の大会で決勝に進出した。ジャッジとしても多くの経験を積んでおり、6大会で主審査委員、数々の大会で決勝戦のジャッジを務めた。また、バーミンガム大学ディベート会長時代にはトレーニングプログラムの作成、とりわけ女性のための新規トレーニングセッションの創立に尽力した。ドイツ語副専攻・経済学の第一級優等学位を得て最近バーミンガム大学を卒業。今年11月からプライスウォーターハウスクーパーズで経営コンサルタントとして就業予定である。